操作方法

■引戸パネルのFG-N150P(格納下部ガイド)の操作について

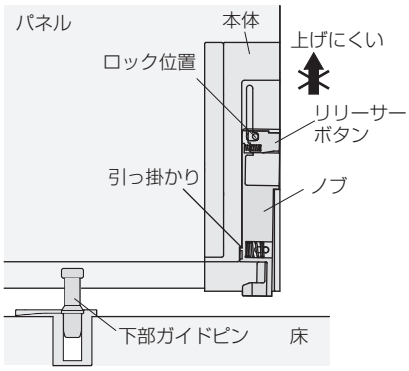
格納下部ガイドのノブは、下がった状態の時にロックが掛かっております。更に、ロックを解除しても下部ガイドピンが格納下部ガイドのキャッチに確実にはまっていないといないと上げづらくなる仕組みになっています。

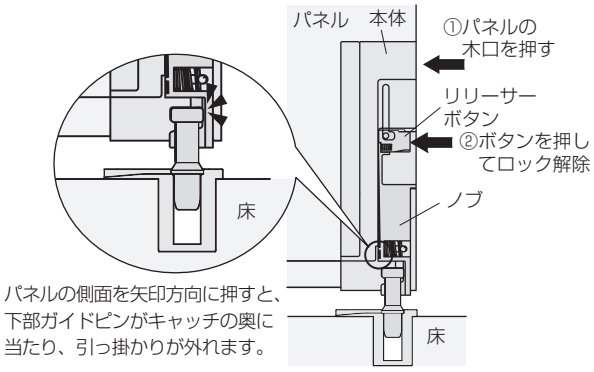
●引戸として使用している時

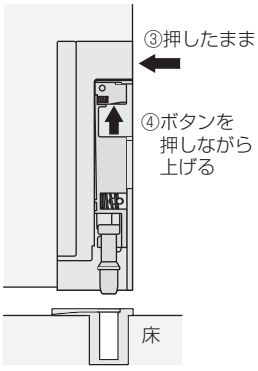
リリーサーボタンがロック位置にあるため、固定されています。さらに、ノブが本体内部に引っ掛かっており、リリーサーボタンを押してロックを解除しても、上げづらくなっております。

●収納部に収納する時

①ノブが下部ガイドピンに嵌合した状態で、パネルの木口を矢印方向に押すと、ノブの引っ掛かりが外れます。
②その状態ままで、リリーサーボタンを押してロックを解除しながら、ノブを上げると下部ガイドピンが本体に格納されます。







ご注意

ノブは無理に上げないでください。
引っ掛かり部が削れ、正常な操作ができなくなります。

ご注意

ノブを操作する際は、指や爪を痛めるおそれがありますので、十分にご注意ください。

■SWボトムタイトの操作方法

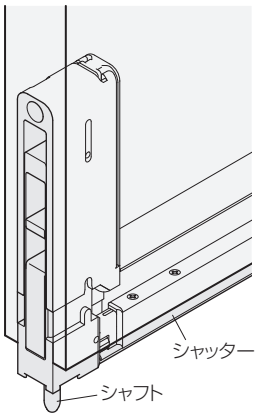
ボトムタイトを下げる時

※あらかじめパネルに手を添えて、床の坪受けに位置を合わせながら操作してください。

●操作ツマミを2段階下ろします

1段階目
シャフトを下ろしてパネルを固定

2段階目
シャッターを下ろして下隙間をふさぐ
※2段階目の操作は、1段階目より重く感じます。

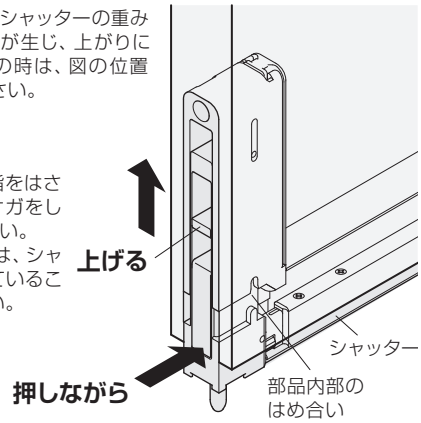


ボトムタイトを上げる時

ボトムタイトを上げる際、シャッターの重みで部品内部に引っ掛かりが生じ、上がりにくい場合があります。その時は、図の位置を押しながら上げてください。

ご注意

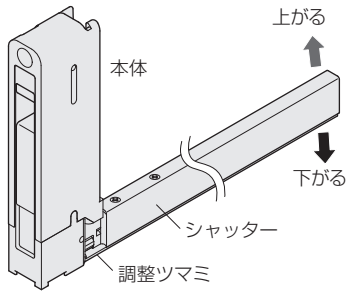
※操作時に、部品同士に指をはさんだり、パネルの角でケガをしないよう、ご注意ください。
※パネルを移動させる際は、シャッターが完全に上がっていることを必ずご確認ください。

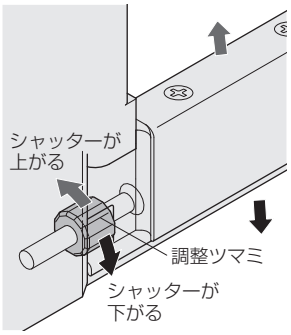


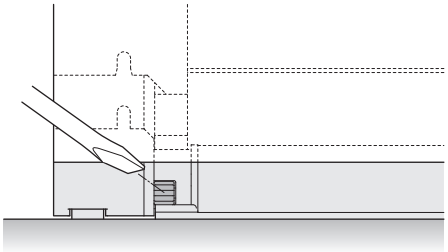
■SWボトムタイト シャッターの垂れ下がり調整

マイナスドライバーで本体の調整ツマミを回して、シャッターの角度を調整します。調整ツマミを上に回すと上がり、下へ回すと下がります。

※パネル幅の大きさによっては、ボトムタイトを上げた際にシャッターの重みで先端が5mm程度下がる場合がありますが、機能上問題はありません。





ご注意

マイナスドライバーで調整の際は、無理に調整ツマミに差し込んでひねったり、床を傷つけたりしないようご注意ください。
パネル幅が広い場合など、調整してもシャッターの先端がわずかに下がる場合があります。